



申6号 2025年度年末手当に関する申し入れ No.3

中央本部に寄せられた組合員・社員の「本音の声」を主張！

■生活実感の声を訴える！

【物価上昇】すべて値上がり、税金すらも増えていくのに苦しく無い訳はない／皆超勤を必死にして稼いで年収を確保している。生活は苦しいという現場社員の声を聞いてほしい／運賃改定も良いが社員の賃金も改訂してほしい【家庭・住宅ローン】ボーナスは家族へのご褒美だったのが今では生活費への補填／食費が高く、子どもを塾に行かせてあげられない／住宅ローンが上昇し、生活を圧迫している。年末手当が満額でなければ、安定した生活ができない。【食事】カップラーメンやジャンクフード、菓子パンでしのいでいる人が多い／1食 800 円くらいはするがそれを毎食は難しい

【主な会社回答】一概に言えないが、物価に対して当社の賃金が全く追いついていないとは考えていない。

■労働実感の声を訴える！

【検修】業務量は低下せず右肩上がり。要員は不足する中、毎日のように超勤で業務をやりくりしている／変わらない管理者が多い。現場だけが努力している／自分も転職を本気で考えている／働き度も上がっているがその労働分が賃金的に還元されている実感はない／毎日ロボットのように働いて身体が悲鳴を上げている。一体いつ体を壊すかわからない。

【乗務員】効率性をどんどん上げて乗務効率も上がり、拘束も長くなっている／社長は必要な要員は確保しているというがどこにいいのか／休みなのに毎日のように休出の電話がかかってきてストレスを感じ休んでいる気がしない／過去最高の働き度を更新し続けている。人が足りなく休日出勤は当たり前。突発が出ると行路を分割して何とかカバーしている。

【営業】出勤すれば新幹線が遅れ休憩時間返上で異常時対応。明けは勉強会や企画の打合せに追われ休む時間がない。／外国人が多いが対応は現場任せで給料が上がらない／兼務を含めて5担務こなしている／融合と連携、企画業務で働き度は増すばかりだが、退職者の補充すらなく、要員は増えない／効率化に見合う支給額になっていない／地域連携のため、外部と連絡をとるが作業ダイヤ中にはできないので休まらない／明け番での委員会等の参加が多く、休養が十分に取れない／やることばかり増やされ精神的にも余裕が失われている。

【工務】猛暑日に毎日のように現場に出た／昨年とは比較にならない程、伐採や除草を行ってきた／巡視・巡回しながら伐採や除草を行わなければ現場が回らない／緊急調査の指示を受け、業務を止めて緊急調査に集中してきた／ゲリラ豪雨などの警備対応も尽力してきた／予算が配布されず、必要な工事計画と予算編成の見直しなど短い期間で懸命になって検討してきた／事務所におけるコピー用紙や文房具など小さなことも含めコストダウン金額を積み上げてきた

【医療】深刻な要員不足に苦しんでいる／患者の高年齢化、老老介護、認認介護と家族介護が限界を迎え、病院では看護だけでなく介護も同時に行わなければならない。職場を離れて家に戻れば、子どもの面倒だけでなく、親の介護も抱えている／自己研鑽のために学会へ自腹で参加をしたり、よりよい看護を提供するために努力を積み重ねている／病院経営のためにも、緊急や予定入院についても該当科でない患者の受け入れを行い、入院患者数も増えている

【きかく】指令員：以前指令卓で2名体制だったものが1名体制、要員が3割ほど削減され、兼務者も増えており、異常なほど体制が悪化している。支社等：労働密度があがり負担が増加している。昨年の倍くらい忙しく感じる／何でもスピード感が重視とされている／少ない職場人数において休み希望が入らず出勤している

【かんり】自分の仕事の他にも周囲を見ながらやることが多くて大変。余裕がない／一部の会社管理職しか笑っていない／一人4役5役を担っている、社員の成長を後押ししていきたいという思いはあるが、時間がなくてできない

【エルダー】退職が多く、仕事量が多い。体も年齢もあることから、きつくて大変だ。突発等で休勤が発生している現状もあり、休まらない。

【青年協議会】安全問題やパワハラ、セクハラが多すぎる／大多数が納得しているとか、社友会の声とかそういう茶番はやめて欲しい／日々お客さまの不安を解消する為に苦労している現場の社員の声に耳を傾けて欲しい／社員の働き度に見合った額を出すべき。支払い能力はある。出し渋らないで欲しい／毎回毎回出さない理由ばかりを並べたり、あたかも社員を騙すような提示の仕方はいいい加減やめてほしい／夏季手当においては踏み込んだ回答、と言っているのにも関わらず前年度にプラスして、たった 0.1 ヶ月増えただけ／要員が明らかに不足しているのにも関わらず対処をしない。気づいた若手から辞めていく／稼ぐ優先で社員を大事にしなければどんどん離れていく